



いっぺいといっぱく

市長のまちづくりにかける想いを市長の語り口でお伝えます。
市HP「よせがもん」もぜひご覧ください。

Vol.103 ホットできる風景

10月1日、市議会が主催して、子ども議会が行われました。

市内各小・中学校から代表2人が子ども議員として参加し、市に対して、ごみのカラス被害、子ども医療費助成制度、運動会の実施方法、公園の危険箇所などの質問、提案をいただきました。

市側も、どうしたら子どもたちにわかりやすい答弁になるか、どうしたら子どもたちの緊張をほぐせるかを考え、答弁内容を工夫したり、答える部長たちの自己紹介シートを作ったりしました。子どもたちは、議場という初めての場所でもとても緊張したと思いますが、常に発言者の目を見て、耳を傾けてくれました。私は、そのことをとてもうれしく思いました。なぜなら「目を見て話を聞く。目を見てうなづく」は人間関係を築くときにとても大切だからです。

質問の中に、ジブリパークについての質問がありました。「ジブリを連想させるような施設や街並み、多様な自然をより取り入れることは可能ですか。ポスターなどをもっと公共施設に貼ってPRしませんか」という質問、提案でした。

「観光客に、もっと長久手市に興味を持ってほしい」という思いからの素晴らしい提案だと思いました。

この広報11月号がみなさんのお手元に届く頃には、図書館通りを中心にジブリパークをPRするバナー（旗）が掲げられます。市役所の正面階段も、PRに一役買っています。

私は、きっとジブリパークを訪れる人たちは、ホッとできる風景、ホッとできる空気感を求めて来られるのではないだろうかと考えています。今、多くの人が早く、効率的にと、急かされて生活する日々疲れしています。ジブリパークや長久手を訪れたとき、夏の木陰や、秋の揺れる稲穂、香流川に吹き渡る春の風を感じながら、「こんにちは」「ようこそ」「元気？」などと、道行く人があいさつを交わす風景を見れば、まるでジブリアニメの中に紛れ込んだような、ホッとした感覚を覚えるはずですよ。

半年間の開催だった愛知万博とは違い、ジブリパークはこれからずっと長久手市にあります。だからこそ、私は長久手というまち自体が、互いに声を掛け合う「人の木陰」と、環境にもやさしい「みどりの木陰」にあふれる長久手にしていきたいと思っています。

人間関係が疎遠になりつつある日本で、あいさつが飛び交うまちは、どこにもありません。

長久手がそんなまちになれば、その風景を見るために日本中、世界中から多くの人々が訪れるようになるに違いありません。



市役所正面玄関

ふれあい つながり みんなが楽しむまちづくり
こんにちは！西小学校区まちづくり協議会 検索 です。

◆市内一斉避難所開設訓練
今年も感染症対策のため、参加者を地域の代表者に限定して避難所開設訓練を行います。みなさんもご自身で「我が家の災害への備え」について考えてみましょう。

◆12月に「まち協フェスティバル」の開催を計画しています。詳細は後日。お楽しみに。

☎0561-64-5331 西小学校区共生ステーション
Eメール nishi.no.machikyo@gmail.com

市が洞 小学校区まちづくり協議会
0561-61-5914

“ちいきの掲示板”を配布しました！

●10月～12月の地域のイベント企画やお知らせ、これまでの活動報告などを掲載した“ちいきの掲示板”を、市が洞小学校区内全戸に配布しました。

11月は「一斉防災訓練」や「共生ステーション祭り」等を実施しますが、開催日、内容等については変更もありませんので、詳細はHP・チラシ等でご確認ください。

●お詫びと訂正
ちいきの掲示板の最終ページの右肩部に※12/9は全館清掃のため臨時休館となります。とありますが、正しくは12/7となります。お詫びして訂正いたします。

長久手市地域見守り安心ほっとライン 0561-63-5556 24時間 365日受付

ご近所で「いつもと違う」と気づいたときはお電話ください

この広報紙の無断転載を禁じます。視覚障がい者のみなさんにも家族から読んであげてください。

